

ショート動画マーケ人材育成・内製化研修プログラム

3ヶ月で、御社の担当者を「ショート動画マーケティングの即戦力」へ。

撮影・編集・運用まで、社内で完結できるチームをつくるOff-JT研修。

合同会社LEAD ONE

※TikTok / Instagram Reels / YouTube Shortsなど各種SNSに対応

「SNSごとのノウハウ」よりも、その前に大事な“ショート動画の基礎体力”を。

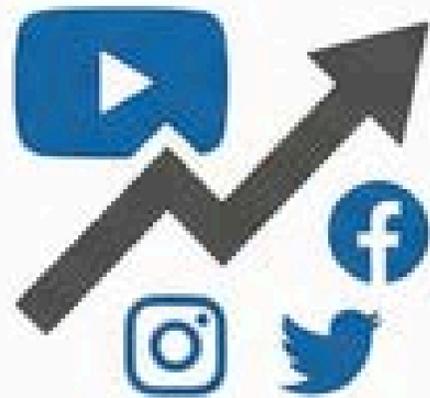


まずは「どのプラットフォームでも通用するショート動画の企画力・撮影・編集・運用スキル」を身につける。その上で、TikTokやリールなど各SNSの“クセ”に合わせて応用していく——そんな順番で設計された研修です。

- ✓ 本プログラムは「TikTokの操作講座」ではなく、どのSNSにも通用するショート動画制作・運用の基礎体力をつける研修です。
- ✓ その上で、代表的な発信先としてTikTok / Instagram Reels / YouTube Shorts などに応用できる設計となっています。

ショート動画が「当たり前」になった今、社内に人材がいるかどうかが見え目。

1. 市場の現状



- ・ テキスト・静止画より「短時間で理解・感情訴求」が可能。
- ・ TikTok、Instagram Reels、YouTube Shortsなど、主要SNSが縦型動画を標準採用。

2. 活用シーンの拡大



- ・ 採用・販促・ブランディング・社内広報など、多岐にわたる用途。

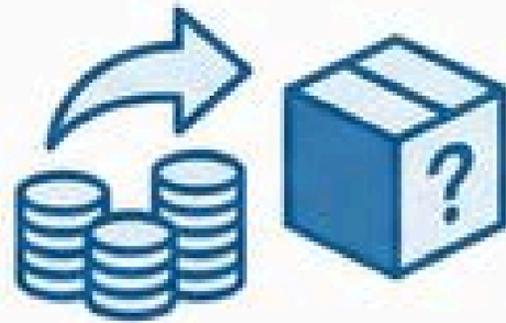
3. 核心的な課題



「どこに出すか」より、「何をどう作るか」を設計できる人材が圧倒的に不足。

企業が抱える課題

こんなお悩みはありませんか？



外注依存

動画制作・運用を外部に丸投げ。
毎月の固定費が高い／
中身がブラックボックス。



ノウハウ不在

担当者が変わるたびに振り出しに
戻る。「何となく投稿」になり、
戦略も振り返りもない。



人材不足

社内に企画・編集ができる人がい
ない。若手にやらせているが、
体系的に教えられない人がいない。

ショート動画を“外注の成果物”から、“**社内の武器**”に変えるには、
担当者の育成と、仕組みづくりが欠かせません。

~~「代行」~~ではなく「育成」。ショート動画マーケ人材を3ヶ月で育てる。

目標：3ヶ月後に企画・撮影・編集・運用・分析を一通りこなせる担当者が社内にいる状態

プログラム柱（3織）



1. 共通原則

ショート動画の“共通原則”を身に付ける



2. 企画力

自社のビジネスに合わせた企画に落とし込める



3. 応用力

TikTok / Reels / Shorts 等に
応用して配信できる

対象・到達イメージ

誰のための研修で、3ヶ月後にどうなっているか？



研修の対象 (Target Audience)

- マーケティング・広報・採用担当者
- ショート動画を本格活用したい中小・地方企業
- 「まずは1~3名から」中核メンバーを育てたい企業



3ヶ月後の到達イメージ (Achievement)

- 企画案を自ら出せる
- スマホ+基本アプリで、撮影~編集~投稿を自走できる
- どのSNSに出すべきか、目的に応じて選べる
- 数値を見て改善案を出せる
- 社内マニュアルに沿って、チームで回せる

「聞いて終わり」ではなく、 「自社アカウントで実践して定着させる設計」

30%

講義
(Lecture)

ワーク・課題
(Practice)

70%



実践

毎回の研修ごとに
「自社の動画を1本以上つくる」。



フィードバック

講師によるチェックシート形式の
フィードバック。



資産化

研修内容がそのまま「社内マニュアル/
チェックリスト」になる構造。

3ヶ月・全24時間のショート動画内製化研修プログラム



期間

3ヶ月



形式

オンライン（Zoom）＋実務課題



受講人数

1～5名程度／社



集合研修

12時間（2時間×月2回×3ヶ月）

+



課題・演習

12時間（4時間×月2回×3ヶ月）

+



Total

合計 約**24**時間

i Flexibility Note: TikTok / Instagram Reels / YouTube Shorts など、御社の優先度に応じて扱うSNSの比重を調整可能

3ステップで「戦略 → 制作 → 自走体制」を完成

3ヶ月ロードマップ（俯瞰）

STEP 1（1ヶ月目）

戦略・基礎固め



ショート動画の基礎知識と自社の戦略を整備

STEP 2（2ヶ月目）

撮影・編集の実践



実際にスマホで撮影・編集するスキルを習得

STEP 3（3ヶ月目）

分析・運用の仕組み化



データ分析に基づく改善とマニュアル整備

1ヶ月目 詳細：戦略・基礎固め

ショート動画戦略と企画の基礎固め



Curriculum (カリキュラム内容)

- ショート動画の役割・強みの理解
- 自社のビジネス・採用課題の棚卸し
- 目標（KGI・KPI）の設定
- ペルソナ・訴求軸の整理
- 企画・構成テンプレートの使い方
- 選定SNS（TikTok / Reels / Shorts等）の優先順位決め



Deliverables (成果物)

- ショート動画活用方針メモ
- 企画ストック（ネター一覧）
- 投稿ルールのたたき台

2ヶ月目：スマホ1台で“伝わる動画”を作れるように

カリキュラム内容



実践スキル習得

- 撮影基礎：構図・画角／光の使い方／音声の確保
- 編集基礎：カット編集／テロップ入れ／BGM／書き出し設定
- 視聴維持率UP：冒頭3秒のフック／テンポ／テロップデザイン



実践と成果



実践サイクル



- 週2～3本ペースの投稿実践
- 毎回の課題動画への講師フィードバック

Deliverables (成果物)

- 実際に投稿されたショート動画の本数
- 改善点・良かった点に分かるフィードバックシート

3ヶ月目 詳細：分析・自走体制づくり

分析・改善・運用マニュアルで「自走」できる体制へ



カリキュラム内容

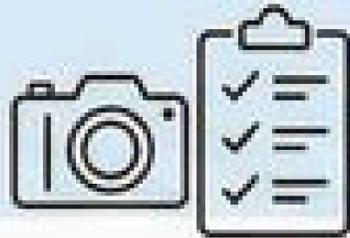
- 各SNSインサイトの見方・指標整理
(再生数・維持率・CV)
- 伸びた動画／伸びなかった動画の比較分析
- 勝ちパターンの抽出・言語化
- 卒業制作（企画→撮影→編集→投稿→振り返り）



成果物

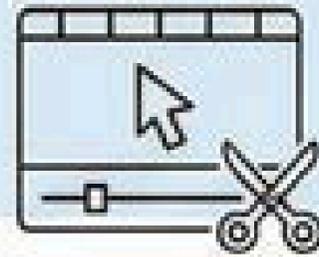
- KPI管理シート
- 貴社専用ショート動画運用マニュアル
(初版)

制作スキルモジュール：撮影・編集の「再現性」をつくる



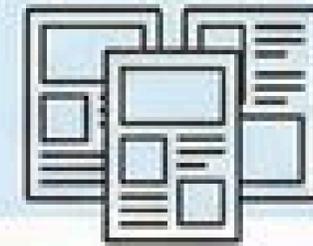
撮影チェックリスト

- 撮る前に確認するポイント（場所・光・音・構図）



編集ルール

- テロップのスタイル／フォント／BGMルール



テンプレート化

- よく使う構成パターン（解説・ビフォーアフター・インタビュー等）



社内で横展開しやすい形づくり

マーケティング & SNS応用モジュール



TikTok 拡散性・音源文化 • バズを生む拡散力 • トレンド音源の活用 • エンタメ要素の重視	Instagram Reels 既存フォロワーとの親和性 • フォロワーとのエンゲージメント強化 • フィードとの連動 • 視覚的な美しさ	YouTube Shorts 既存チャンネルとの連動 • 長尺動画への誘導 • チャンネル登録者数の増加 • 検索からの流入
---	--	---

判断軸 (Decision Axis)
どの企画をどのSNSに出すべきかの戦略的判断
プラットフォームごとの特性を見極め、目的に合わせた最適な動画を配信する戦略を立てる

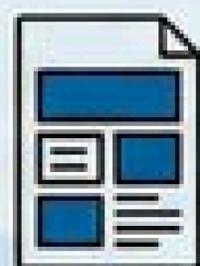
SNSごとの細かいテクニックだけでなく、「自社の目的に合わせて、どのプラットフォームに、どんな動画を出すべきか」まで判断できる力を育てます。

研修後も生き続ける「社内資産」をセットで納品

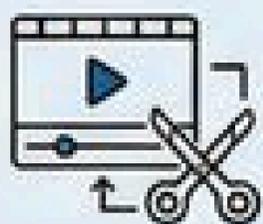


貴社専用ショート動画 運用マニュアル

企業独自の戦略・ポリシーに基づいた運用ガイドライン



企画・台本テンプレート集
複数の構成パターンに対応した
テンプレート



編集ルール・テンプレデザイン
統一性を保つための編集ガイドライン



撮影チェックリスト
品質管理用の詳細なチェックシート

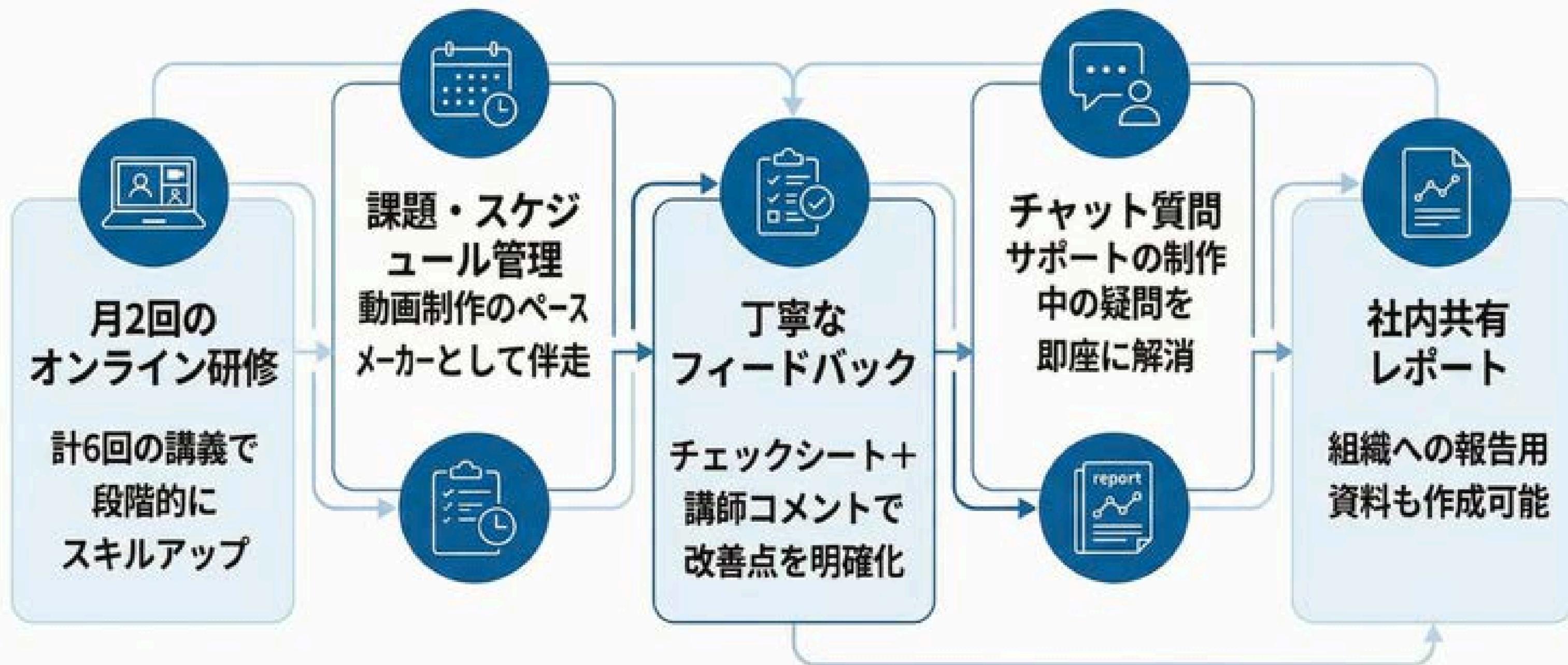


KPI管理・投稿管理シート
パフォーマンス追跡と投稿
スケジュール管理



研修修了レポート（オプション）
受講者の習熟度と成長を可視化

未経験でも安心して走りきれる進行・サポート体制



「ショート動画×人材育成」に特化した現場目線の研修

1. 通常の運用代行



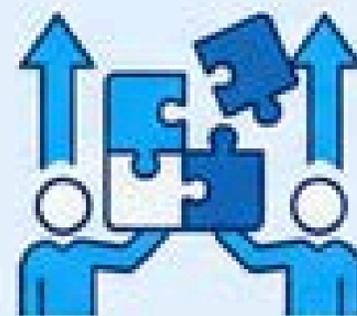
✕ 社内にノウハウが蓄積されない

2. 一般的なeラーニング



✕ 知識習得のみで実践力がつかない

3. 本プログラム



- ◎ 実践とフィードバックでスキル定着
- ◎ 内製化・人材育成に最適

「人材育成」に特化。現場で使えるスキルを内製化。

実践を通して、自走できる人材を育成します。

料金・実質ご負担イメージ

人材開発支援助成金の活用を前提としたシミュレーション



研修費（標準料金）

- 1人あたり：月額 100,000円 × 3ヶ月
= 300,000円（税別）
- 3名受講例：総額 900,000円（税別）

※研修は参加者2名から実施可能です



助成金活用時の実質負担

- 1人あたり：
研修費 300,000円 - 助成額 約150,000円
➔ 実質ご負担：**約150,000円**
(月額換算 約50,000円)
- 3名受講例：
研修費 900,000円 - 助成額 約450,000円
➔ 実質ご負担：**約450,000円** (3名分)

助成金活用を見据えた進め方



LEAD ONEの役割

- ・ 研修内容・時間数の明確化
- ・ 出席簿・実施報告の提供
- ・ 社労士との情報連携

よくあるご質問（FAQ）



動画編集未経験でも大丈夫？

A い、問題ありません。完全初心者向けにスマホ撮影から段階的に習得します。



どのSNSをメインにするか迷っている...

A 社の目的やターゲットをヒアリングし、最適なプラットフォームをご提案します。



社内稟議用の資料は用意できる？

A い、研修効果や助成金シミュレーションを含む提案資料をご用意可能です。



オンライン以外（対面）も可能？

A い、可能です。ご要望に合わせてカスタマイズいたします（別途お見積り）。



何名まで同時受講できる？

A クラス1～5名程度が最適です。フィードバックの質を保つため少人数制を推奨します。

まずは「ショート動画活用の現状診断」から

無料個別相談（60分程度）のご案内



ヒアリング内容

- 現状の発信状況
- 目指したいゴール
- 社内体制・人員状況

最適な研修プランと
受講人数をご提案



助成金活用も 検討中の方へ

助成金活用を前提としたカリキュラム設計案も提示可能です。

お申し込み・お問い合わせ



申し込みフォーム

合同会社LEAD ONE

mail@lead-one.info